

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆「国の借金」過去最大の1342兆円、25年末時点 国債依存の構図強まる

・財務省は国債と借入金、政府短期証券を合計した、いわゆる「国の借金」が2025年12月末時点で1342兆1720億円だったと発表。24年12月末から24兆5355億円増え、過去最大となった。予算の財源不足を埋める新規国債の発行で残高が膨らんだ。税込返済分の普通国債の発行残高は1094兆4874億円と、24年12月末から23兆4827億円増えた。

◆日経平均終値5万7650円 古河電工株の急騰が示す「買い遅れの恐怖」

・10日の東京株式市場で日経平均株価は前日比1286円(2.28%)高の5万7650円で終え、連日で最高値を更新した。一時は1600円近く上げて次の節目の5万8000円に迫るなど、上値を追う動きが途絶えない。高市早苗政権への期待に加え、好調な企業業績が投資家の「買い遅れの恐怖」を駆り立てている。

◆日本株に短期過熱サイン 日経平均の騰落レシオ、5カ月ぶり高水準

・東京株式市場で短期的な過熱を示すサインがとまっている。日経平均株価採用銘柄の値上がり銘柄数を値下がり銘柄数で割って算出する騰落レシオは「買われすぎ」の目安とされる範囲に入り、5カ月ぶりの高水準となった。衆院選での自民党の大勝を受けて幅広い銘柄が買われながら相場が上昇している。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆建設投資見通し81兆円、30年ぶり大台超え 公共事業や事務所がけん引

・建設経済研究所と経済調査会は、建設投資の2026年度見通しを81兆700億円と推計。25年度見通しの76兆6800億円を5.7%上回り、1996年度以来30年ぶりに80兆円の大台を超える見込み。両者が2026年1月14日に発表した。堅調な建設投資は、公共事業がけん引する。

◆ノーリツの純利益2.6倍の86億円 26年12月期、政策株の売却で

・ノーリツは2026年12月期の連結純利益が前期比2.6倍の86億円になる見通しだと発表。政策保有株の売却で約80億円の特別利益を計上する。売上高は4%増の2100億円を見込む。中国での販路拡大や、米国における業務用機器の販売増が寄与する。年間配当予想は94円(前期は74円)。売上高は2020億円と同微減だった。

◆1月の工作機械受注25%増、中国で光通信向け好調

・日本工作機械工業会が発表した1月の工作機械受注額(速報値)は、前年同月比25%増の1455億円だった。プラスは7カ月連続。日工会は「これまで通り海外向けが主導して全体を引っ張った構図だ」とコメントした。海外向けは34%増の1129億円だった。2025年12月(1187億円)に次いで過去2番目の受注額だった。

《 注目商品 》

■ボッシュのビルトイン食洗機、ゼオライト幅45cmモデルを10%値下げ

・日本発売10周年を記念して、「ボッシュビルトイン食器洗い機」の一部モデルの価格改定を実施。現行価格から約10%値下げ。対象機種は「ゼオライトシリーズ」幅45cmモデル。洗浄時は庫内温度を高め、乾燥時は食器や庫内から放出される湿気を吸収して食器を素早く乾かす。



■BXカネシン、引張耐力149kNのホールダウン金物

・中・大規模木造建築の高倍率の耐力壁や連層耐力壁の柱端部に使用するホールダウン金物。柱に対してビスを斜め45度に打ち込むことで、高い引張性能とビス本数の削減を両立。135mm角以上の柱に対応し、149kNの高い引張性能を実現。



■ナスタ、心地よい呼出音のインターホン

・呼出音の心地よさを追求した戸建て住宅向けインターホンの新型機種。心地よい音として音楽療法などに用いられる432Hzを基音とする音階を採用。呼出音は6種類に加え、追加ダウンロード音5種類を用意。筐体は室内親機ともにシンプルなデザインを採用。

